

## アレッポ：米 - NATO のニセ旗、ウソ、プロパガンダ

【訳者注】Vanessa Beeley (女性) のことは、「アレッポ戦でのアメリカの露骨なウソ宣伝」に言及されている。またその前の、モスルを中心に論じた論文とこれを併せ読むなら、アレッポ (シリア) もモスル (イラク) も、ほぼ同じ状況下にあることがわかる。現地からのこれらの報告は、米帝国の市民に対するテロが、いかに悪質なものであるかを示している。これはもう隠すことができない。この他にも、同じサイトの、「ワシントンの戦争陰謀：中東における米軍国主義の更なる噴火」「アレッポ争奪戦：ワシントンが公然とアルカーイダを支援」「シリア、ISIS、および米 - 英によるプロパガンダ戦争」「米 - NATO の“人道的介入”が“人道に対する犯罪”に変貌」など、すべてこれを補強する。

そこで日本の大手メディアに申し上げたい。これまではまだ酌量の余地があった。しかしこれ以上、米/西側メディアに追随して、真実をごまかしたり隠したりすれば、確実に戦争犯罪に加担することになる。それは共犯として同罪である。「ウラの取りようがない、証明しようがない」と言うかもしれない。それならせめて、これだけ強い疑いのあるものについては、米政府の言うことには「疑いがある」と、はっきり言うべきである。これは、撃墜された飛行機の犯人が誰かを曖昧にするより、はるかに深刻である。なぜなら、これ以上メディアが曖昧な態度を取り続けるなら、現在進行中のテロと民族虐殺は確実に拡大する。メディアだけではない、一般の我々にも責任がのしかかっている。

Vanessa Beeley

Global Research, May 5, 2016

シリア政府の統制下にあるアレッポに対する、米 - NATO による恐ろしいテロ攻撃の後で、実効的にテロリストの仮の野戦病院になっているものへの、攻撃と言われるものが、ニセ旗であった疑いが濃厚になりつつある。

シリアには、公的な「国境なき医師団」(MSF) の病院はない。しかしテロリストの占領している地域内の建物に設けられた、MSF に“支援された”病院はある。これらの野戦シェルターや仮の施設は、合法的なシリア政府からの許可なしに、シリア内部に不法に設けられている。これらの病院は、しばしば、米・英政府の資金による「ホワイト・ヘルメット」団からスタッフを得ているが、この団体自体がアルヌスラ (アルカーイダ) 系統の団体で、ISIS の支配する地域に居座っている。

<https://thewallwillfall.wordpress.com/2015/06/05/reflections-on-arsal-syrian-refugees->

[in-lebanon-by-a-correspondent-based-in-syria/](#)

21st Century Wire 報告：シリアの「ホワイト・ヘルメット」：騙しによる戦争

<http://21stcenturywire.com/2015/10/23/syrias-white-helmets-war-by-way-of-deception-part-1/>

国連のシリア永久代表である Al Jaafari 博士は、2016 年 2 月、国連とメディアに対して話しかけたとき、この点を明瞭に強調した——

<https://youtu.be/5PRXjyf8Bbo> (ビデオ)

アレッポに居住する高名な医師 Nabil Antaki 博士は、Al Quds 病院は、シリアに対する戦争が始まる前には存在しなかった、とはっきり言った。この明言から、この病院が、アルヌスラ派によって、おそらくすでに存在する建物に設置されたもので、東アレッポを占領している米 - NATO の支援するテロリストを収容するものであることは間違いない。

この病院 (Al Quds) は戦争が始まる前にはなかったものです。それは戦争が始まって後、ある建物に設置されたものに違いありません。私はこの病院が Al Quds であることを確証できる、アレッポ東部の人を誰も知りません。ここに、アレッポの私立・公立病院のすべてを示す[リンクがあります](#)。(ナビル・アンタキ博士、2016/5/2)

[http://www.genshrin.com/servers/useful\\_num/t\\_hospital.php](http://www.genshrin.com/servers/useful_num/t_hospital.php)

21st Century Wire の報告：アレッポの医師が西側メディアの偏見、検閲、虚偽を攻撃 <http://21stcenturywire.com/2016/05/01/exclusive-aleppo-doctor-attacks-western-media-for-bias-censorship-and-lies/>

「チャンネル 4」のビデオが示しているのは、立派な、比較的設備のよい病院で、明らかに、アレッポで何年も開業してきたこの医師の説明とは一致しない。

この医師自身の兄弟が、占領する米 - NATO のテロリストによって殺されている。彼は、戦争がアレッポに及び始めたばかりの 2012/13 年に、バスでアレッポに帰る途中、銃撃されて死んだ。この都市は、彼らを“革命”に引き込もうとする執拗な試みに、常に抵抗していた。

我々は次に、アレッポの別の居住者に話を聞いた。アレッポ東部に巣食うテロリスト集団による報復のリスクがあるので、我々は、その名前を明かすことはできない。しかし、彼らの

反応もまた、東アレッポのテロリスト病院への攻撃と言われているものは、米 - NATO のニセ旗である疑いがきわめて強いことを示した。

もう一つ考慮すべきものとして、ドイツは規則的に、彼らの Tomado 部隊によってシリアの空からの偵察を行い、空中活動を監視している。2016年4月29日の German Federal Press 会議によると、「非常に疑わしいというのではないが、我々は、反 ISIS 連合 [米 - NATO] が MSF 病院を攻撃したという疑いを、捨てることはできない。」

<https://www.youtube.com/watch?v=oQ22Ixz6NkQ&w=640&h=390>

ニセ旗攻撃を正当化するものがあるだろうか？ シリア・アラブ軍 (SAA) は、アレッポ東部の ISIS およびアルヌスラの砦に向かって、迅速に効果的に前進しており、さらに都市そのものの内部にあるアルヌスラのハブ地点に向かって、目標を狭めている。そこにいた住民は、東部から西部の政府の支配する地域へと追い払われている。

アレッポは、米 - NATO 傭兵軍輸送のハブ中心地である。化学工業工場が占領され、これが、アルヌスラやその関連集団に、トルコの供給する材料によって、化学兵器を生産する能力を与えている。トルコは、シリアの工業の発祥地であるアレッポから、1441以上の工場を盗み出している。アレッポはテロリストの供給チェーンの軸として、米 - NATO テロ軍団を補強する武器や人員の、輸送と受け入れの理想的な場所になっている。

<http://gerarddirect.com/2012/12/09/syria-jihadist-al-nusra-front-siezes-chemical-factory-in-aleppo/>

<https://www.rt.com/news/325825-sarin-gas-syria-turkey/>

<https://youtu.be/uOSUh87WA20> (ビデオ)

## アレッポの住民の供述

私は病院のリストについて、5つのウェブサイトをチェックしましたが、そのうち3つは Al Quds 病院をあげておらず、残りの2つだけがあげていて、電話番号は1つだけでした。普通、病院の電話は1つということはありません。だからアンタキ博士の言ったことは正しいでしょう。

これは普通のビルを、1012年以後、テロリストを治療するための治療所に作り替えたものと思われます。誰もその存在を知らず、聞いたこともないのです。

アレッポに住むある人は、このビルは、アメリカのミサイルによるニセ旗攻撃で攻撃さ

れたもので、SAA のやったことにするためだったと主張していました。当然これは証拠が必要です。

「チャンネル4」ニュースについて言うなら、私はこれを先週ずっと見ていたのですが、見ていられなくなりました。彼らはウソをついていたからです。彼らは、あの攻撃されたと言われる病院と死んだ医師のことを、毎日、何度も繰り返して報道し、SAA がやったと主張しています。

彼らは、先週中に彼らの大切なテロリストの破壊した、他の病院については何も言いませんでした。彼らは、何百人という負傷者、毎日殺されていた何十人もの人々については、何も言いませんでした。

彼らは、モルタル弾を撃ち込まれた、500年の歴史のある古いモスクや、正統派教会のことは全く報道していません。モスクは、人々が金曜日の祈りを捧げているとき、教会は、聖金曜日の祝いの最中だったのです。それは復活祭のお祝いをしていた日曜日にも攻撃されました。



「チャンネル4」は、新型のモルタル弾や、前よりもっと強力になったロケットによって破壊された住居ビルディングのことは、報道しませんでした。ビルがその居住者の上に落ちてきたのです。ある子どもは、自分の家族全員をなくしました。

本当にたくさんの物語があります。

「チャンネル4」は、テロリストたちの写真を見せて、彼らに同情するように求めているのです。

妊娠した女性や新生児が、アレッポの Dabbeet の産科医院で、テロリストのモルタル弾によって殺されました。Ar-Razi 病院はモルタル弾を受け、そのいくつかの部分から出火しました。これはアレッポの数少ない無料病院の一つです。別の私立の病院も、この市の新アレッポ区域で標的にされました。

先週中に集中的に砲撃されたもう一つの区域は、Midan の界限です。そこは人口密度の特に高い住宅街です。もともとアルメニア人が住んでいましたが、この危機と亡命者

や移民のために、現在は、ほとんど貧しい人たちの雑居地域になっています。

私は何を言っているかわかりません。私が願うのはただ、ロシアや SAA やヒズボラなどが、アレッポは、これらの野蛮人たちと、誰であれ彼らを支援している者たちの手に落ちることはない、と保証してくれることです。

停戦前はまだ、ましでした。停戦協定のおかげで、テロリストはより高性能の武器を手に入れ、その期間中に、今我々が目撃しているやり方で攻撃する力をつけたのです。

それはあらゆるレベルで、何でもありの戦争になっています。地上の激しい戦闘。主流メディアは、テロリストのイメージを美化して、彼らを“自由の戦士”だと言っています。水も不足し、物資の供給もありません。貧しい人々にとって、あらゆる物の値段が高騰しています。これによって、ますます多くの人が苦しみ、負傷し、殺され、家をなくし、難民になっています・・・

## “爆弾禁止ゾーン”？

5月3日、21st Century Wire はこう報じた——「アメリカと NATO による〈アレッポは燃えている〉作戦が“爆弾禁止ゾーン”を作らせることに」

<http://21stcenturywire.com/2016/05/03/syria-aleppoisburning-campaign-created-by-us-and-nato-to-facilitate-a-no-bomb-zone/>

プロパガンダの車輪は、メディアが「国境なき医師団」爆撃の物語を繰り返すのに呼応して回りだす。例によって、メディアは、いかなるウラを取る調査も、証拠もなしに、このプロパガンダを創り出した。このプロパガンダの嵐の真の意図を明らかにしているのは、アメリカと NATO の代理軍の攻撃にさらされ、血を流している、西アレッポの罪のない人々である。

我々がまたしても目撃しているのは、人の命を顧みない西側メディアの無感覚である——アメリカと NATO のプロパガンダ作戦に奉仕するのを続ける限りは。我々はアメリカと NATO が、テロリズムを利用し、選挙による自分たちの政府に忠実な、あるいは、祖国でのネオ植民地主義目標に単に抵抗している、シリアの人々を、集団処罰しようとしているのを目にしている。

“爆弾禁止ゾーン”とは、“飛行禁止ゾーン”の別名にすぎず、米 - NATO の主権国家破壊の狙いの美名である。

(ヴァネッサ・ビーリーは、21WIRE や Global Research への寄稿者、2011 年から彼女はほとんどの時間を中東で過ごし、そこの出来事を報告している。独立調査ジャーナリスト、作家、写真家、平和活動家。彼女は「シリア連帯運動」指導委員の一人でもあり、「パレスティナへの帰還グローバル運動」のボランティアでもある。彼女の仕事については、ブログ <https://thewallwillfall.wordpress.com/> を見よ。)